

施策名【環境保全】

章	節	施策		主要施策	事務 事業 コード	事業 数	事務事業	課	係	管理 方法	備考
5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり	1.豊かな自然環境との共生	1.環境保全	(1)	総合的な環境保全施策の推進	5111-1	1	環境保全事業	環境政策課	環境政策係	通常	
			(2)	環境保全対策の推進	5112-1	2	公害対策事業	環境政策課	環境保全係	簡易	
					5112-2	3	自然環境保全事業	公園緑地課	公園管理係	簡易	
					5112-3	4	臼田霊園管理事業	臼田支所	経済建設環境係	通常	
					5112-4	5	臼田公害対策事業	臼田支所	経済建設環境係	簡易	
					5112-5	6	浅科公害対策事業	浅科支所	経済建設環境係	簡易	
					5112-6	7	望月公害対策事業	望月支所	経済建設環境係	簡易	
					5112-7	8	地下水等水資源保全事業	環境政策課	環境保全係	通常	
					5112-8	9	動物愛護事業	環境政策課	環境保全係	通常	名称変更
					5112-9	10	臼田動物愛護事業	臼田支所	経済建設環境係	簡易	名称変更
					5112-10	11	浅科動物愛護事業	浅科支所	経済建設環境係	簡易	名称変更
					5112-11	12	望月動物愛護事業	望月支所	経済建設環境係	簡易	名称変更
					5112-12	13	衛生委員会等活動費交付事業	生活環境課	環境衛生係	簡易	生活環境衛生(環境保全)事業から分離
			(3)	生物多様性の保全							5112-8で実施

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	環境保全事業			事務事業コード	5111-1
担 当	環 境 部	環 境 政 策 課	環境政策 環境保全 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)		法定根拠	環境基本法	
管理方法	通常			生物多様性基本法・地球温暖化対策推進法	
実施方法	☒ 市が直接実施 ☒ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市民や事業者と行政が協働し、本市の環境保全を総合的かつ計画的に進めることにより、自然環境や生活環境の保全に関する意識の高揚を図り、より良い環境が将来の世代に受け継がれる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・第二次佐久市環境基本計画を基に、各種事業で掲げる目標(例:市民ワークショップの開催)が達成できるよう、市民・事業者・行政が協働して実施する事業を推進する。 ・緑の環境調査や自然観察会を実施し、自然環境への関心を持つきっかけをつくるとともに、現状を把握する中で特定外来生物(植物)の駆除講習会などを開催する。 ・市内の森林内の森林生態系及び生物多様性の保全を図るため、専門家による助言を基に植生や動物に関する調査・実験を行い、森林内の現状を把握するとともに、植生の維持回復に向けた対策を検討する。 ・市広報紙や市ホームページ、佐久ケーブルテレビ、FMさくだいら等で環境保全の市民周知を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	40,018		45,160		52,822	
	人件費	2.65 人	18,153	2.75 人	19,993	2.95 人	21,447
	非常勤職員等	0 時間	0	1440 時間	1,915	1440 時間	1,915
	人件費合計	18,153		21,908		23,362	
	総事業費	58,171		67,068		76,184	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	4,978		2,264		5,047	
	一般財源	53,193		64,804		71,137	
	財源合計	58,171		67,068		76,184	

令和 5 年度 実施内容	・環境審議会を2回開催し、「第二次佐久市一般廃棄物処理基本計画」に対する意見等をいただき内容について審議した。 ・緑の環境調査「佐久市いきものさがし」は、第二次佐久市環境基本計画で定めた指標生物を含む5種類（フクロウ、ミンク、オオムラサキ、サクラソウ、オオクチバス・コクチバス）の生息情報を市民から募った結果、923件の報告を受けた。 ・自然観察会は、6回開催し、自然環境について考えるきっかけづくりが行えた。 ・特定外来生物駆除講習会は、3回実施し効果的な駆除方法の周知等、啓発活動を行うことができた。 ・市内森林内の植生及び動物調査の結果を基に、生物多様性専門家会議を5回開催し、森林内の現状を検証するとともに植生回復対策を検討した。				
-----------------	---	--	--	--	--

活動指標	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
自然観察会の開催回数	回	実績	3	6	
		目標	6	6	6
	%	達成率	50	100	
成果指標	単位				
自然観察会の参加人数	人	実績	48	98	
		目標	100	100	100
	%	達成率	48	98	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	自然観察会は、「植物観察会」や「カブトムシ幼虫観察会」、「野鳥観察会」を行う中で、少しでも生きものたちとふれあい、自然環境について考えるきっかけをつくることができた。今後も事業を行い、環境に関する市民意識の高揚を図る必要がある。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	自然環境、生活環境等に関する市民意識の高揚を図り、市民等が行動するためには、市の啓発活動と市民等への行動支援が必要である。
事業の課題	・緑の環境調査「佐久市いきものさがし」では、第二次佐久市環境基本計画で定めた指標生物種報告1,500件(累計)を目標に掲げていることから、より多くの市民から調査協力を得るためPRの工夫が必要である。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度	～	令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> ・家庭や学校、職場をはじめ様々な機会でも子どもと大人が一緒になって環境について学び、考え、環境にやさしい暮らしを積極的に実践するための取組みを実施する。				

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	公害対策事業			事務事業コード	5112-1
担 当	環 境 部	環境政策 課	環境保全 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	法定受託事務		法定根拠	佐久市公害防止条例、公害紛争処理法	
管理方法	簡易			騒音・振動規制法、悪臭防止法	
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 （ ）				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 事業活動等から発生する公害を防止し、市民の健康保護や生活環境の保全を図ることで、市民が快適に暮らすことができる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・公害苦情、水質汚濁事故等に関係機関と連携して対応するとともに、原因者へ指導を行う。 ・佐久市公害防止条例に基づく届出書類の受付事務及び公害を防止するための指導等を行う。 ・騒音・振動規制法に基づく届出書類の受付事務を行う。 ・自動車騒音常時監視、河川水質・底質、地下水水質監視、窒素酸化物汚染測定の実施、市ホームページや環境白書を通じて結果等を市民へ公表する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	5,326		5,594		6,282	
	人件費	1.25 人	8,563	1.20 人	8,724	0.90 人	6,543
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	8,563		8,724		6,543	
	総事業費	13,889		14,318		12,825	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	13,889		14,318		12,825	
	財源合計	13,889		14,318		12,825	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	自然環境保全事業			事務事業コード	5112-2
担 当	建設 部	公園緑地 課	公園管理 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)		法定根拠	佐久市自然環境保全条例	
管理方法	通常				
実施方法	☒ 市が直接実施 ☒ 委託または指定管理 ☒ 補助金・負担金 ☐ その他 (				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 地域住民が安心して暮らせる災害のない良好な生活環境および自然環境の維持・保全を次世代へ継承する。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 自然環境の保全に関する施策を総合的に推進するために必要な事項を定めた佐久市自然環境保全条例に基づき、山林及び原野の開発等に関する相談のほか、本条例に基づく申請行為について、関係各課と協議し、適切な指導や許可を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.20 人	1,370	0.30 人	2,181	0.30 人	2,181
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	1,370		2,181		2,181	
	総事業費	1,370		2,181		2,181	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	1,370		2,181		2,181	
	財源合計	1,370		2,181		2,181	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	臼田霊園管理事業				事務事業コード	5112-3
担 当	総務 部	臼田支所 課	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度	
事業の性質	任意の自治事務(不定型)		法定根拠			
管理方法	通常					
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()					

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 霊園を適正に管理し、市民がいつでも快適に利用している。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・霊園の維持管理(巡視・除草・清掃・修繕工事等)を行う。 ・霊園に関する各種届出事務、許可申請受付事務等を行う。 ・霊園の共用箇所以外の使用区画内の管理については使用者が行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	416		58		129	
	人件費	0.20 人	1,370	0.20 人	1,454	0.45 人	3,272
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	1,370		1,454		3,272	
	総事業費	1,786		1,512		3,401	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	1,786		1,512		3,401	
	財源合計	1,786		1,512		3,401	

令和 5 年度 実施内容	霊園の維持管理等を行った。
-----------------	---------------

活動指標	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
霊園の清掃回数	回	実績	6	6	
		目標	6	6	6
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
		実績			
		目標			
	%	達成率			

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	達成	職員による霊園内の共用部分の清掃、草刈り、除草剤散布により、ゴミが減少するなど適正な霊園管理が図られた。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	新たな管理料の徴収が困難であることから民間や公社等への管理委託は難しく、市が管理する必要がある。
事業の課題	数十年先を見据えた運営方法の検討が課題である。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	手法等の見直し	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 将来的な霊園管理の在り方について、霊園使用者とともに最善の方策を探索していく。		

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	臼田公害対策事業				事務事業コード	5112-4
担 当	総務 部	臼田支所 課	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度	
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠	環境基本法			
管理方法	簡易		廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()					

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 公害防止により、生活及び自然環境の保全を図り、市民が快適に暮らすことができている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・公害苦情(大気汚染・水質汚濁・騒音・野焼き等)の申立て(通報)に対する調査及び原因者に対する改善等指導を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.20 人	1,370	0.10 人	727	0.20 人	1,454
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	1,370		727		1,454	
	総事業費	1,370		727		1,454	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	1,370		727		1,454	
	財源合計	1,370		727		1,454	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	浅科公害対策事業			事務事業コード	5112-5
担 当	総務 部	浅科支所	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)		法定根拠		
管理方法	簡易				
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 公害防止により、生活及び自然環境の保全を図り、市民が快適に暮らすことができる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・公害苦情(大気汚染・水質汚濁・騒音・野焼き等)の申立て(通報)に対する調査及び原因者に対する改善指導。 ・北陸新幹線鉄道により発生する騒音及び振動の調査(毎年1回)は、県機関の機器を用いて測定し、結果は県のホームページに公開される。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.30 人	2,055	0.25 人	1,818	0.30 人	2,181
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	2,055		1,818		2,181	
	総事業費	2,055		1,818		2,181	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	2,055		1,818		2,181	
	財源合計	2,055		1,818		2,181	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	望月公害対策事業				事務事業コード	5112-6
担 当	総務 部	望月支所	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度	
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠	消費者契約法			
管理方法	簡易					
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☒ その他 ()					

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 公害防止により、生活及び自然環境保全を図り、市民が快適に暮らすことができる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 公害の苦情(大気汚染、水質汚泥、騒音、野焼等)の通報に対する調査及び原因者に対する改善等を指導する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.25 人	1,713	0.25 人	1,818	0.25 人	1,818
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	1,713		1,818		1,818	
	総事業費	1,713		1,818		1,818	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	1,713		1,818		1,818	
	財源合計	1,713		1,818		1,818	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	地下水等水資源保全事業			事務事業コード	5112-7
担 当	環 境 部	環境政策 課	環境保全 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)		法定根拠	水循環基本法	
管理方法	通常			長野県豊かな水資源の保全に関する条例、佐久市地下水保全条例	
実施方法	☒ 市が直接実施 ☒ 委託または指定管理		☒ 補助金・負担金	☐ その他 ()	

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 地下水等水資源が保全されることにより、市民への良質で安全な水の供給が図られ、健康で安心安全な市民生活を将来にわたり確保していくことができる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・地域共有の貴重な財産である地下水等水資源の保全と活用の取組は、市町村の枠に収まるものではなく、地域の枠を超え長い年月を掛け循環していることから、一部の自治体の取組だけでは、水資源の保全は不可能である。そこで、全国の自治体等による情報ネットワークを構築するために設立された「水資源保全全国自治体連絡会」において、地域を超えた水資源の保全に取り組む。 ・「長野県豊かな水資源の保全に関する条例」に基づき、水源地域のうち、その土地の所有者及び利用の状況等を勘案して水資源の保全のために必要があると認める区域を、「水資源保全地域」として指定する取組を推進する。 ・佐久地域11市町村及び東御市(以下「佐久地域」という。)の水循環※1は、地下水等の水資源が重要な役割を果たしており、佐久地域流域全体で水循環の健全化を図るためには、佐久地域が一帯となり国が推進している「流域マネジメント」に取り組む必要があるため、令和3年度に「佐久地域流域水循環計画」を策定した。 (※1水循環:水が、蒸発、降下、流下又は浸透により、海域等に至る過程で、地表水又は地下水として河川の流域を中心に循環すること。)	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	1,017		798		741	
	人件費	1.25 人	8,563	0.60 人	4,362	0.75 人	5,453
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	8,563		4,362		5,453	
	総事業費	9,580		5,160		6,194	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	9,580		5,160		6,194	
	財源合計	9,580		5,160		6,194	

令和 5 年度 実施内容	・水資源保全全国自治体連絡会担当者会議の開催(7月) ・国土交通省、農林水産省、環境省へ打合せ(8月) ・水資源保全全国自治体連絡会全体会議の開催(10月) ・R6開催予定の水資源保全全国自治体連絡会シンポジウムの現地視察及び打合せ(10月) ・水資源保全全国自治体連絡会役員改選による事務引継ぎ(2月)
-----------------	--

活動指標	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
水資源啓発活動の回数	回	実績	4	4	
		目標	4	4	4
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
水資源保全地域の指定数	箇所	実績	0	0	
		目標	2	2	2
	%	達成率	0	0	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	7月に水資源保全全国自治体連絡会担当者会議を、10月に水資源保全全国自治体連絡会全体会議を開催した。全体会議において、会則の改正、役員改選及びシンポジウム開催地の議事について全会一致で承認され完遂した。役員改選に伴い、熊本市への事務局引き継ぎに係る資料を作成し、R6.2月に打合せを行った。 来年度のシンポジウム開催に向けて、熊本市や大野市と打合せをして事務を進めている。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	水循環基本法に基づき作成する流域水循環計画は市町村が作成し、行政・住民・団体・事業者等が一体となって施策に取り組むことが必要。
事業の課題	平成26年7月に「水循環基本法」が施行され、翌年7月には「水循環基本計画」が閣議決定された。水循環基本法では、おおむね5年ごとに水循環基本計画の見直しを行い、必要な変更を加えることとされており、令和2年6月に改正水循環基本計画が閣議決定された。 同計画では、流域における健全な水循環を維持又は回復するために、地域が一体となって水循環に関する施策を総合的かつ一体的に推進する「流域マネジメント※」の取組が推進されていることから、国、県、水道事業者等と連携して、水資源保全に係る「佐久地域流域水循環計画」を策定した。 策定された計画に基づき実行計画の策定や既存計画に水循環に関わる取組を定め、行政・住民・団体・事業者などが一体となって取り組む必要がある。 また、佐久地域の計画推進状況を集約し、評価することで計画内容や連携体制の改善を図り、計画の効率的な推進を図るために評価体制を整備する必要がある。(※流域マネジメント:森林、河川、農地、都市、湖沼、沿岸地域等において、人の営みと水量、水質、水と関わる自然環境を良好な状態に保つ、又は改善するため、様々な取り組みを通じ、流域において関係する行政などの公的機関、事業者、団体、住民等がそれぞれ連携して活動すること。) 水資源保全地域指定については、指定区域内の所有者が膨大且つ所有者を特定できない土地も複数あるため、調査に長期間を要している。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載>		
	佐久地域12市町村が一体となって策定した「佐久地域流域水循環計画」に基づいた施策を行政、住民、団体、事業者などがそれぞれ連携して「流域マネジメント」の推進を図るための体制を整備していく。 水資源保全地域の指定については、所有者が特定できる水源地域について調査を進め、本年度は2カ所の地域指定を目指す。		

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	動物愛護事業			事務事業コード	5112-8
担 当	環 境 部	環 境 政 策 課	環 境 保 全 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)		法定根拠	狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律	
管理方法	通常			佐久市猫繁殖制限手術費補助金交付要綱	
実施方法	☒ 市が直接実施 ☒ 委託または指定管理 ☒ 補助金・負担金 ☐ その他 (				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 動物による人の生命、身体及び財産に対する侵害並びに生活環境の保全上の支障を防止し、人と動物が共生する社会の実現を図る	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・獣医師会等と連携し、飼犬の登録や狂犬病予防注射の徹底を図るため法律で定められた期間に巡回注射を実施するとともに、未注射犬の飼育者に対して督促をする。 ・動物愛護に関する市民意識の向上を図るため、ポスターやリーフレット等を作成し区へ配布する。 ・公道上において轢死等の犬猫の死骸を回収する。 ・猫の適正飼養の啓発、過大な繁殖及び近隣被害を未然に防止するとともに、寿命を全うせずになくなってしまいう不幸な命を生み出さないため、猫繁殖制限手術費用に対する補助金を交付する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	11,250		10,475		8,852	
	人件費	1.25 人	8,563	1.20 人	8,724	1.00 人	7,270
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	8,563		8,724		7,270	
	総事業費	19,813		19,199		16,122	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	9,339		8,090		3,566	
	一般財源	10,474		11,109		12,556	
	財源合計	19,813		19,199		16,122	

令和 5 年度 実施内容	飼犬登録事務(通年) 狂犬病予防の巡回注射(5月、10月) 公道上等での犬猫の死骸処理(192件) 猫繁殖制限手術費補助金交付(飼い猫99頭、飼い主のいない猫593頭) クラウドファンディングの実施(2回実施 4～7月、10～12月)
-----------------	---

活動指標	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
CFの目標金額	回	実績	4,430	3,207	
		目標	4,000	4,000	4,000
	%	達成率	110.8	80.2	
成果指標	単位				
猫繁殖制限手術補助事業の補助頭数	箇所	実績	796	688	
		目標	600	600	600
	%	達成率	132.7	114.7	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	達成	補助頭数は、飼い猫95頭、飼い主のいない猫593頭、計688頭で目標頭数に達成した。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	地域猫活動を促進するためには、地域住民、ボランティア、行政等関係者がそれぞれの役割を担い、地域の問題を地域で解決するため協働して行うことが大切であり、行政として活動資金の助成や啓発活動などを行う必要がある。
事業の課題	飼い主のいない猫等の増加を防止し、市民の快適な生活環境の保持を図るためには、現時点において地域猫活動を促進していくことが最善策であり、地域猫活動を行うにあたってボランティア団体が大きな役割を担っている。 この活動を行うボランティアやボランティア団体が市内に多く存在することで事業の促進に結びつくが、ボランティアは厳しい運営状況の中で活動を行っているため、実施頭数が増加することでボランティアの負担増加につながる恐れがある。 そのため、ボランティアの活動状況を注視しながら今後の支援体制を検討していくとともに支援を行うための財源の確保に一層努める必要がある。 また、不幸な猫を減らすためのもう1つの重要な施策は、猫の生態や適正飼養の周知及び繁殖制限手術の実施であることから、管理できる頭数以上に増加させてしまう前に周知徹底が図られるよう引き続き啓発していく必要がある。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度	～	令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 不幸な猫の頭数を短期的に減らすために繁殖制限手術の補助頭数を増やすための財源を確保しつつ、重要施策である猫の生態等の周知の徹底を図る。 また、地域猫活動で大きな役割を担っているボランティア団体の活動状況を注視しながら、ボランティア団体の負担が過多にならないよう更なる支援施策を検討していく。				

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	臼田動物愛護事業				事務事業コード	5112-9
担 当	総務 部	臼田支所 課	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度	
事業の性質	義務的自治事務(定型)		法定根拠	狂犬病予防法		
管理方法	簡易			動物の愛護及び管理に関する法律		
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()					

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 狂犬病予防注射の実施及び路上等で死んだ愛玩動物(犬・猫に限る)の処理により、市民は安全で快適な生活を享受している。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・獣医師会等と連携し、飼犬の登録や、狂犬病予防注射の徹底を図るため法律で定められた期間に巡回注射を実施するとともに、未注射犬の飼育者に対して督促をする。 ・動物に関する市民意識の向上を図るためのイベントを開催する。 ・公道上等の犬猫死骸処理を行う。(平成27年度から業務委託。ただし緊急時は職員が対応する。) ・飼い主のいない猫の増加を抑えるための猫の繁殖制限手術の推進を図る。 ・ペットの苦情等について佐久保健福祉事務所と連携して対応する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.25 人	1,713	0.20 人	1,454	0.30 人	2,181
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	1,713		1,454		2,181	
	総事業費	1,713		1,454		2,181	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	1,713		1,454		2,181	
	財源合計	1,713		1,454		2,181	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	浅科動物愛護事業				事務事業コード	5112-10
担 当	総務 部	浅科支所	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度	
事業の性質	義務的自治事務(定型)		法定根拠			
管理方法	簡易					
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()					

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 動物による人の生命、身体及び財産に対する侵害並びに生活環境の保全上の支障を防止し、人と動物が共生する社会の実現を図る。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・獣医師会等と連携し、飼犬の登録や、狂犬病予防注射の徹底を図るため法律で定められた期間に巡回注射を実施するとともに、未注射犬の飼育者に対して督促をする。 ・動物に関する市民意識の向上を図るためのイベント開催、また公道上等も犬猫死骸処理や飼い主のいない猫の増加を抑えるための猫の繁殖制限手術の推進を図る。 ・ペットの苦情処理等は佐久保健福祉事務所と連携して対応。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費						
	常勤職員	0.30 人	2,055	0.25 人	1,818	0.30 人	2,181
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	2,055		1,818		2,181	
総事業費		2,055		1,818		2,181	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	2,055		1,818		2,181	
	財源合計	2,055		1,818		2,181	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	望月動物愛護事業				事務事業コード	5112-11
担 当	総務 部	望月支所	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度	
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠				
管理方法	簡易					
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()					

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	3.快適な生活環境の創出
	施策	1.環境衛生
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 狂犬病予防注射の実施及び公共物上の愛玩動物(犬・猫)の死骸処理等により、市民が安全で快適な生活を享受している。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 狂犬病予防注射の定期巡回、飼犬管理登録等の事務処理、ペットによる苦情処理及び公共物上の愛玩動物(犬・猫)の死骸の改修等の実施 ・狂犬病予防注射の定期巡回及び飼犬管理登録等事務を獣医師会との連携により実施 ・ペットによる苦情対応は、佐久保健所と連携して対応 ・公共施設(道水路)での犬猫死骸の回収及び処理	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.20 人	1,370	0.20 人	1,454	0.20 人	1,454
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	1,370		1,454		1,454	
	総事業費	1,370		1,454		1,454	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	1,370		1,454		1,454	
	財源合計	1,370		1,454		1,454	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	衛生委員会等活動費交付事業			事務事業コード	5112-12
担 当	環 境 部	生活環境 課	環境衛生 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)		法定根拠		
管理方法	簡易			佐久市衛生委員会規約	
実施方法	☐ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市域の良好な環境づくりや、環境保全の推進	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 衛生委員会活動費交付及び市内一斉清掃等への活動補助	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
コスト	事業費	9,900		9,900		13,899	
	人件費	0.35 人	2,398	0.35 人	2,545	0.35 人	2,545
	非常勤職員等	200 時間	266	200 時間	266	200 時間	266
	人件費合計	2,664		2,811		2,811	
	総事業費	12,564		12,711		16,710	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	12,564		12,841		16,710	
	財源合計	12,564		12,841		16,710	